

二月の衛生 醫學博士 齋藤文雄

○米英戦の起ち上りの素晴らしさはどうでせう。それに就いての詳しい報告が次々と入つて来る度に私は涙なしには新聞を讀めません。この間のお話しには、

A 大尉「敵の對空射撃がブンブン鼻先を掠めて突き抜けるのに閉口してもう駄目だと觀念したが其瞬間には不思議にもおふくろの姿がありありと眼前に浮び上つてくるものだね。俺のおふくろは毎朝神社に詣つてゐる相だが、それが神社の前に手を合せてうづくまつてゐる姿なんだ。本當に有難いと思ひもう死んでもよいと思つて氣が軽くなつた。」

E 中尉「もう最後だと思つて觀念した時は母親の顔がありありと浮び上つて来る。」

○皆さん有難い事ではありませんか。普段の母親の掬めども盡きせぬ慈愛の泉、同時にしつかりと子供を訓育した日本獨

得の婦人精神、それが愈々最後の御奉公になつて判然と勇士の膺裏に蘇つて来るのです。もうこうなると單なる一人の母親ではありません。大きな母性愛、ひいては國の愛、祖宗天照皇大神宮が大和島根に垂れさせ給はつた大きな愛そのものであります。母親の日常の舉動、言葉、

躰、教育と云ふ様な細かい事が合成されると神の愛となつてゆきます。御子さんを育てる事の六か敷さ。貴さ。有難さ。○一年の中で一番寒い此頃、本當に土まで凍み徹る様な寒さの中で御子さん方は御元氣でせうか。この頃は御子さんも寒さと云ふものに慣れますので存外病氣をいたしません。寒さに徹してしまひます。又その中に生き方がある譯であります。もう赤ちやんでは無いのですからお爺さんやお婆さんの御孝へで御子さんを消極的にしてはいけません。寒くても外

で遊べ。雪が降つたらそれも御子さんの玩具の一つ、思ふ存分鍛練に利用いたしませう。

○霜焼けで痛々しい御子さんがありますね。これは體質にもよりますが出來た方はどうしませうか。御子さんは自分で癒してやらう等考へません。お母さんが黙つて御手當をいたします。元來これは寒さの爲めに鬱血してそこが腐るのですから、出來る丈け血の循環をよくしてやる事です。熱い湯と水に交互につけたり太陽燈をかけましたり膏藥をつけたりしますのも結局皮膚を刺戟して血の循環をよくしてやること云ふ事なのです。

○この頃から地方によつては麻疹が出て參ります。大病を患つて未だ充分に元氣を取り戻してゐないお子さん、結核反應が最近陽性であつた、つまり結核に感染して間も無い様なお子さん、そう云ふ方はひざい目に遇ひますから流行と同時に麻疹の延期願ひを出して下さい。延期願ひつて何でせう。御父さんやお母さんの血液なり血清なりを充分に注射して貰ふ事なのです。